保険者国保事業紹介

人間ドック・生活習慣病検診受診者増える

天橋立で、日帰り「あるこう会」

組合員、被保険者の漸減続く

―――――京都府薬剤師国民健康保険組合

国保の概況

来年は創立 50 周年に

当国保は、府薬剤師会会員である薬剤師と薬局や医薬品販売業を営んでいる人で組織しており、京都府内と隣接の大津市などが対象地域です。

設立は昭和 33 年 4 月で、創立４９年目になります。組合員の高齢化が進み、廃業が増えているうえ、新規法人の加入が認められないことなどから組合員数、被保険者数とも漸減を続けており、設立当初 1,900 人を超えた被保険者数は平成 17 年度末で 1,552 人になっています。給付は当初組合員 10 割・その他５割でしたが、昭和 40 年に８割・７割、平成 15 年にはすべて７割になっています。

また、来年は創立 50 周年を迎え、記念式典を予定しています。

保健事業の取り組み

検診の助成
受診者数増える

人間ドック受診者には、年齢制限なしで３万円の補助をしています。自己負担は１万円余で、受診者は年々増えています。医院、診療所などで一定の時期に受診できる生活習慣病検診は、チラシで受診を呼びかけており、職業がら健康に関心のある人が多く、これも受診者が増え、平成 17 年度にはドックと合わせて 87 人になっています。

来年度からは特定健診が実施されるため、組合員だけでなく家族、従業員にも受診の意義を知ってもらい、受診率を高めることが課題になっています。

あるこう会・組合員研修会
昨年まで一泊研修も

昭和 42 年から被保険者の健康保持増進のための一泊研修会を毎年行い、昨年で 40 回を数えました。しかし、医薬分業が進み、調剤薬局が増えたことから、日曜日以外の研修は難しくなりました。これとは別に、あるこう会は京都市周辺で毎年実施、昨年で 27 回になり、参加者は 20～40 人と好評ですが、府北部の会員が参加しにくいなどの声が寄せられていました。

これらの事情から、今年は遠出のあるこう会を日帰りで行いました。5 月 13 日、会場は北部の天橋立・伊根です。バスで文珠まで行き、天橋立を往復する約 7 キロのコースでした。参加者 31 人の半数余は女性で、高齢者が多かったのですが、全コースを歩ききった人も十人ありました。

ウォーキングは比較的簡単な運動法で、基礎体力づくりや生活習慣病予防に効果があり、あるこう会を契機に、多くの方が取り組んでもらえるよう期待しています。

健康増進施設の利用補助

エミナース「竹の郷」温泉、クアハウス岩滝、ラクトスポーツプラザ、ヘルスピア２１などの利用補助をしていますが、「竹の郷」利用券は年間三百枚以上出ています。

表 1　被保険者の動向(年度末集計)

年度	組合員数（人）	被保険者数（人）
平成 15 年	574	1,711
平成 16 年	559	1,624
平成 17 年	536	1,552

表 2　一人当たり医療費　（単位:円）

	一般		老健	
年度	一人当たり費用額	受診率（%）	一人当たり費用額	受診率（%）
平成 15 年	139,267	840.81	809,561	2,185.01
平成 16 年	165,117	933.88	777,695	2,299.69
平成 17 年	161,633	981.80	767,514	2,380.27